

# 【精神科】

## 1 研修目標

当院精神科は「ストレス関連疾患」や「認知障害」などを主とする診療を行っています。総合病院精神科として入院加療は難しい状態ですが外来診療においては気分障害、適応障害、不安障害、認知障害、睡眠障害、軽症統合失調症などの疾患を対象に診断および通院加療を行っています。また、他科入院患者の精神的ケア（リエゾン精神医学）として不安、抑うつ、不眠、せん妄などの症状に対して薬物療法および精神療法も行っていきます。

### （1）一般目標

- 精神科領域の疾患が生ずる心理的な病態把握し診断と治療を修得する。
- 看護師および薬剤師、コメディカルスタッフなどとのチーム医療を習得する。
- 精神科的理論を学習しストレス対策指導（早期対応、予防）を修得する。
- 精神的危機状態について学習し危機介入について修得する。

### （2）行動目標

- 患者の心理面に配慮した面接を行い良好な医師患者関係を築くことができる。
- 精神科領域の疾患に対して適切な病歴聴取、診察、病態の把握や説明ができる。
- 患者の心理的背景や行動特性を把握し心理的なアドバイスや薬物療法の選択ができる。
- 精神科的な理論、薬物療法、チーム医療を理解し実践できる。
- 各種心理テストを用い評価することができる。
- 精神科領域の多様な薬物特性を理解し薬物療法が行うことができる。
- 一部のストレス関連疾患に対して救急対応ができる。

## 2 研修方略

### （1）研修期間

4週以上

### （2）方法

- ①外来および病棟コンサルテーションにて患者の病歴聴取し診察を行う（認知障害、不安障害、睡眠障害、せん妄などの研修を含む）。
- ②症例に対してのカンファレンスを行い症例提示および積極的なディスカッションを行う。

- ③カンファレンスで決定した治療方針を実行し、指導医とともに治療的介入を行う（面接、薬物療法、行動療法なども含む）。
- ④各種心理テストが施行でき、画像検査の所見と評価ができるようにする。
- ⑤外来診察の見学し外来診療を体験する。
- ⑥勤労者メンタルヘルス業務として勤労者夜間診療を体験する。
- ⑦委員会活動としての緩和ケア一回診、認知症および身体拘束回診に参加する。
- ⑧一部の精神科疾患（過換気症候群、パニック障害、向精神病薬の急性薬物中毒など）の救急対応を体験する。
- ⑨行政業務としての医療審査会の見学を行う。

行動目標	方法	場所	担当者
①②	講義、議論	精神科外来	土屋
①②③⑤⑥⑧	実地診療	外来・病棟	土屋
④	実技、評価	精神科外来	土屋
⑦	実地診療	病棟	土屋
⑨	見学	院外	土屋

## （２）週間スケジュール

早朝 8:00～8:30 朝 8:30～ 昼 13:00～ 夕 17:00～

月曜 朝：外来 昼：リエゾン（病棟）

火曜 朝：外来 昼：リエゾン（病棟）

水曜 朝：外来 昼：リエゾン、認知症・身体拘束回診（病棟）

※夕：勤労者夜間診療（外来）

木曜 早朝：緩和ケア回診 朝：外来 昼：リエゾン（病棟）

※昼：行政業務としての医療審査会（院外）

金曜 朝：外来 昼：リエゾン（病棟）

### 3 研修責任者

精神科 部長 土屋 健

### 4 研修指導医

精神科 部長 土屋 健

### 5 評価

研修目標の達成状況を研修終了時に評価表に従って行う。